

請願番号	請願第6号	件名	PFAS汚染水被害に対する市民の負担の軽減と健康被害の実態調査を求める請願
受理年月日	令和5年 11月17日	請願代表者 住所・氏名	各務原市蘇原月丘町3-26-11 PFAS汚染からいのちの水を守る各務原市民の会 共同代表 今尾 明美 ほか5人
付託委員会	建設水道 常任委員会	紹介議員	波多野こうめ、永治明子、古川明美、 杉山元則

(請願趣旨)

初めに、PFAS（有機フッ素化合物）は人にとって毒性のある有害物質として国連傘下の「ストックホルム条約」（残留性有機汚染物質の規制条約）が、2009年に製造・使用を原則禁止としました。それを受け日本も2011年に製造・使用の原則禁止を決めました。その理由はPFASを体内に取り込み続ければ一定の割合で腎臓がん、肝疾患、免疫力の低下、低出生体重、発育遅延などの発症の事実が疫学の観点で実証されたからです。

本年7月下旬、唐突に公表された三井水源地のPFAS汚染問題は市民にとって衝撃でありました。それは市が暫定目標値（以下「目標値」）50ng/Lを超えたPFAS汚染水道水を少なくとも2年9か月にわたって7万2000人の市民の飲み水として供給し続けたばかりか、この間その事実を一切公表せずまた、市民に向けた対策を何も取ってこなかったことを市民が知ったからであります。市民の市水道局への不信と不安の大きさは8月に入って1か月の間に1000件を超える市民から市水道局への問合せ電話があったことに如実に示されています。しかし、市民の不安の声に対し市長は一貫として「PFAS汚染水道水を飲み続けたことによる健康被害の報告の事実はない」として7月下旬の公表以後も学校や保育所など公共施設の一部の水道蛇口に浄水器設置のほかは市民に対して何ら対策を講ぜず、目標値以下になった10月中旬まで目標値を超える水道水を流し続けました。市長の「目標値を超えるPFAS汚染水を飲み続けても問題ない」という言説は、冒頭の「ストックホルム条約」が示した疫学で得た有害物質に対する予防原則という科学的見地を無視した暴論と言えます。PFAS問題で先進的な取組をするアメリカではPFASを法的拘束力のある規制値として4ng/Lまで下げ規制を強めています。それは、PFASの人体への有害性の大きさが日々明らかにされたからです。

7月下旬にPFAS汚染を知った各務原市民は子どもや自らの将来の健康不安を抱えながらミネラルウォーターの購入や浄水器設置などでPFAS汚染水への自己防衛策を取らざるを得ませんでした。それは市民にすれば高い水道料金を払わされたこととなります。そしてPFAS汚染は半世紀前から始まっていることから市民の中には自分のPFAS血中濃度を知り、健康対策に役立てたいと思う人が大勢います。

以上のことに鑑みて次のことをお願いいたします。

(請願事項)

1. PFAS汚染対策にかかった費用を水道料金に転嫁しないこと。
2. 水道料金を減額すること。
3. 希望する市民に血液検査を無料で実施すること。
4. 国に対して暫定目標値を米国並みに下げよう要請してください。

請 願 番 号	請 願 第 7 号	件 名	稲田園の廃止撤回を求める請願
受理年月日	令 和 5 年 1 1 月 2 1 日	請願代表者 住所・氏名	各務原市上中屋町4丁目73番地 全日本年金者組合各務原支部 支部長 河田 博 (248名署名)
付託委員会	民 生 常 任 委 員 会	紹 介 議 員	波多野こうめ、古川明美、杉山元則 永治明子
<p>(請願趣旨)</p> <p>稲田園は、高齢者の健康増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与し、もって高齢者の福祉向上に寄与することを目的に設置され、老人福祉法に基づく老人福祉センターです。大浴場、ステージつきの大広間があり、健康機器（ウォーキングマシン、エアロバイクなど）卓球台、クロリティー、スロットボールなどが置いてあり、どなたでも安い料金で気軽に使うことができます。シニアクラブなどの団体が年間行事を組み交流施設として利用、フレイルチェック大会などイベントも行われ、多くの高齢者が健康増進に活用されています。団体利用者には送迎バスを出すなどの便宜も図っています。</p> <p>フレイル予防や介護予防にも今後ますます需要が見込まれ、むしろ必要な施設です。利用者の声も聞かずいとも簡単に廃止するやり方で承服できません。</p> <p>今後改修工事などに多額な費用がかかることや、高齢者の意識の多様化などから一定の役割を終えたと言いますが、高齢者の健康増進事業として必要な施設であり、存続させてください。</p> <p>(請願事項)</p> <p>1. 稲田園は、きちんと整備し高齢者の健康増進などに寄与するために廃止計画を撤回してください。</p>			